

# 環境経済・政策学会 2011年大会

9月23日(金)~24日(土)

会場

長崎大学文教キャンパス  
環境科学部、全学教育棟

主催 環境経済・政策学会 後援 長崎大学環境科学部

公開シンポジウム

「エネルギー政策の新機軸と低炭素社会  
ースマートコミュニティと地域再生ー」

9月24日(土) 13:30~17:00

会場 長崎大学中部講堂 主催 環境経済・政策学会

## 環境経済・政策学会 2011 年大会の全体スケジュール

### 9月23日（金）

8:00 ~	受付（環境科学部正面玄関）
8:30 ~ 10:30	分科会 1（A～K会場）120分
10:40 ~ 11:40	学会賞授賞式、学会長講演（全 201 講義室）
11:40 ~ 12:40	昼休み
12:40 ~ 14:40	分科会 2（A～K会場）120分
14:50 ~ 16:50	分科会 3（A～K会場）120分
17:00 ~ 18:00	学会総会（全 201 講義室）
18:30 ~ 20:30	懇親会（ルークプラザホテル）

### 9月24日（土）

8:00 ~	受付（環境科学部正面玄関）
8:30 ~ 10:30	分科会 4（A～K会場）120分
10:40 ~ 12:40	分科会 5（A～K会場）120分
12:40 ~ 13:30	昼休み
13:30 ~ 17:00	公開シンポジウム（中部講堂）

#### 大会事務局

長崎大学環境科学部内  
環境経済・政策学会 2011 年大会実行委員会  
〒852-8521 長崎市文教町 1-14  
E-mail: seeps2011@gmail.com  
学会ウェブサイト  
<http://www.soc.nii.ac.jp/seeps/>

## 環境経済・政策学会 2011 年大会スケジュール

会 場	9 月 23 日 (金)			9 月 24 日 (土)	
	分科会 1 8:30~10:30	分科会 2 12:40~14:40	分科会 3 14:50~16:50	分科会 4 8:30~10:30	分科会 5 10:40~12:40
A 会場 (環 141)	<企画(ハ°礼)> アジアのアス ベスト	<企画> アジアの資源 循環システム	アジア・途上国	<企画(ハ°礼)> 環境規制の政 策評価	<企画(ハ°礼)> 政策形成対話 の場・機能
B 会場 (環 242)	水環境政策・流 域管理	<企画> 2013 年以降の 気候変動政策 の経済的手法 (1)	<企画> 2013 年以降の 気候変動政策 の経済的手法 (2)	環境評価 (2)	環境評価 (3)
C 会場 (環 341)	気候変動ポス ト 2012 (1)	気候変動ポス ト 2012 (2)	中国	環境資源勘 定・環境指標	LCA・ラベリ ング
D 会場 (環 342)	—	再生可能エネ ルギー (1)	—	—	交通・自動車
E 会場 (環 441)	環境評価 (1)	気候変動緩和 (1)	気候変動緩和 (2)	気候変動緩和 (3)	途上国の気候 変動(緩和・適 応)
F 会場 (全 102)	<企画> 東アジアの環 境協力制度	生物多様性・生 態系サービス	<企画> 生態系サービ スと生物多様 性	<企画(ハ°礼)> 2012 年以降の 温暖化対策国 際枠組み	<企画(ハ°礼)> 震災復興と再 生可能エネル ギー
G 会場 (全 104)	環境マネジメ ントシステム (1)	環境マネジメ ントシステム (2)	—	貿易と環境	コモンズ
H 会場 (全 203)	地域と環境 (1)	環境ガバナ ンス (1)	CSR	地域と環境 (2)	環境ガバナン ス (2)
I 会場 (全 204)	原子力	環境責任	環境経済理論 モデル分析 (2)	<企画(ハ°礼)> 環境政策史	—
J 会場 (全 205)	環境経済理 論・モデル分析 (1)	リサイクル政 策	廃棄物政策・管 理 (1)	廃棄物政策・管 理 (2)	廃棄物政策・管 理 (3)
K 会場 (環 442)	気候変動 - 産 業対応	環境税・排出課 徴金	排出権取引	—	環境技術開 発・普及

(全 201 講義室) 学会長講演、学会賞授賞式、学会総会

(全 103 講義室) 休憩室、書籍販売・展示室

注：(全)は全学教育講義棟、(環)は環境科学部講義棟の略。

## 公開シンポジウム

### エネルギー政策の新機軸と低炭素社会 ―スマートコミュニティと地域再生―

○ 開催日時： 2011年9月24日（土）13:30-17:00

○ 開催場所： 長崎大学文教キャンパス <sup>なかべ</sup> 中部講堂

#### ○趣旨

低炭素型の社会システムへの社会革新は、化石燃料の枯渇だけでなく、温暖化の回避のためにも永らく不可避の課題となっています。東日本大震災以降、さらに、自然エネルギーへの期待が加速され、原発への依存のあり方をはじめ、わが国におけるエネルギー政策の新機軸をどのように構築すべきか、という根源的な問いかけが求められています。本シンポジウムでは、低炭素社会を実現するための次世代エネルギーインフラを基盤とした「スマートコミュニティ」の構築により、エネルギー政策の転換とグリーン・イノベーションの創出への方途と展望を描きます。

#### ○プログラム

- 13:30 ~ 13:45 開会挨拶 趣旨説明、及び島原半島での取り組み紹介  
長崎大学大学院水産・環境科学総合研究科 小野隆弘 教授
- 13:45 ~ 14:25 基調講演1 スマートコミュニティの取組の現状と課題  
東京工業大学ソリューション研究機構 柏木孝夫 教授
- 14:25 ~ 15:05 基調講演2 スマートコミュニティ構築の政策手法とファイナンス  
～現状分析と研究展望  
京都大学大学院経済学研究科 諸富徹 教授
- 15:05 ~ 15:20 休憩
- 15:20 ~ 16:50 パネルディスカッション&討論  
柏木孝夫 教授 (東京工業大学)  
諸富徹 教授 (京都大学)  
阿部力也 特任教授 (東京大学大学院工学系研究科)  
田中明 氏 (株式会社明電舎)
- コーディネーター：小野隆弘 教授 (長崎大学)  
司 会 : 西久保裕彦 教授 (長崎大学)
- 16:50 ~ 閉会挨拶： 環境経済・政策学会会長 細田衛士 教授 (慶應義塾大学)

## A1 <企画(パネル)> アジアのアスベスト

座長:宮本憲一(立命館大学)

- 1 韓国におけるアスベスト災害とその対策  
○南慎二郎(立命館大学)
- 2 台湾におけるアスベスト災害  
○森裕之(立命館大学)
- 3 香港におけるアスベスト災害と対策  
○平岡和久(立命館大学)
- 4 バングラデシュの船舶解撤業とアスベスト問題  
○石原一彦(立命館大学政策科学部)

## B1 水環境政策・流域管理

座長:栗山浩一(京都大学)

- 1 Comprehensive watershed management policies for both improving water quality and reduction greenhouse gas emission  
○李紅(産業技術総合研究所)  
討論者:大野智彦(阪南大学)
- 2 流域委員会の制度的特徴 一級水系の直轄管理区間を対象として  
○大野智彦(阪南大学)  
討論者:西林勝吾(立教大学)
- 3 汚染制御の経済学説史に関する一考察——A.V.クネーゼによる水汚染の経済分析の検討を中心に——  
○西林勝吾(立教大学・院) 学生会員 指導教員名:服部正治  
討論者:福石幸生(慶應義塾大学)
- 4 水資源の放射能汚染が福島経済に与える影響  
○福石幸生(慶應義塾大学)  
討論者:中嶋一憲(兵庫県立大学)

## C1 気候変動ポスト2012(1)

座長:亀山康子(国立環境研究所)

- 1 気候変動枠組における途上国への資金支援の測定・報告・検証(MRV)に関する制度的検討  
○福田幸司(地球環境戦略研究機関)・加藤真(海外環境協力センター)  
討論者:亀山康子(国立環境研究所)
- 2 気候レジームの行方:気候変動枠組条約の下での法形式の観点から  
○亀山康子(国立環境研究所)・田村堅太郎(地球環境戦略研究機関)  
討論者:大久保彩子(東海大学)
- 3 気候変動枠組条約及び京都議定書の交渉過程における主要国の連合等についての研究  
○瀬川恵子(環境省)  
討論者:石井敦(東北大学)
- 4 原子力事故と日本のエネルギー・温暖化政策  
○山口光恒(東京大学)  
討論者:福田幸司(地球環境戦略研究機関)

## E1 環境評価(1)

座長:佐藤和夫(酪農学園大学)

- 1 Anonymity versus Mechanism in Voluntary Contributions: An Experimental Evidence  
○三谷羊平(Norwegian University of Life Sciences)  
討論者:舛田武仁(大阪大学)
- 2 ヘドニック・アプローチによる東京都区部の洪水被害額の計測 —浸水リスク変数の内生性を考慮した分析—  
○岡川梓(国立環境研究所)・日引聡(国立環境研究所)・小嶋秀人(内閣府)  
討論者:加藤尊秋(北九州市立大学)
- 3 野生動物の再導入による死亡リスクの経済評価  
○河田幸視(帯広畜産大学)・渡邊正英(大阪経済大学)  
討論者:三谷羊平(UMB School of Economics and Business, Norwegian University of Life Sciences)
- 4 開発途上国における森林保全の経済価値に関するメタ分析  
○稲田恭輔(早稲田大学・院) 学生会員 指導教員名:松岡俊二  
討論者:立花敏(筑波大学)

## F1 <企画> 東アジアの環境協力制度

座長:寺西俊一(一橋大学)

討論者:蟹江憲史(東京工業大学)、松本礼史(日本大学)、田中勝也(滋賀大学)

- 1 制度論アプローチによる東アジア地域環境制度の形成と地域統合  
○松岡俊二(早稲田大学)
- 2 アジア地域における国際環境条約の有効性の検討  
○金柔美(早稲田大学・院) 学生会員 指導教員名:松岡俊二
- 3 森林環境・生物多様性分野におけるアジアの環境制度の現状と有効性  
○福嶋崇(早稲田大学)
- 4 開発援助と環境管理能力の形成  
○甲斐田直子(筑波大学)

## G1 環境マネジメントシステム(1)

座長:國部克彦(神戸大学)

- 1 階層的契約過程における環境コスト分担  
○野田昭宏(東京都市大学)  
討論者:國部克彦(神戸大学)
- 2 Effects of the reduction of greenhouse gas emissions on the economic performance of firms: an empirical study focusing on demand and productivity  
○西谷公孝(広島大学)・金子慎治(広島大学)・小松悟(広島大学)・藤井秀道(東北大学)  
討論者:一方井誠治(京都大学)
- 3 Intra-Industry Spillover Effects of ISO 14001 Adoption and Environmental Performance in Japan  
○宮本拓郎(東北大学)・馬奈木俊介(東北大学)  
討論者:片山東(早稲田大学)
- 4 統合的環境影響評価指標を用いた企業活動の環境負荷分析  
○井上直人(広島大学・院)・早瀬光司(広島大学) 学生会員 指導教員名:早瀬光司  
討論者:孫穎(国立環境研究所)

## H1 地域と環境(1)

座長:松本泰子(京都大学)

- 1 環境NPO活動の支援と活性化への一考察 -千葉県下環境NPOの政策ネットワークの形成とその影響-  
○平原隆史(千葉商科大学)  
討論者:寺脇拓(立命館大学)
- 2 地域環境質への自発的労働貢献とその経済的誘因  
○寺脇拓(立命館大学)  
討論者:清水万由子(長野大学)
- 3 環境ストック概念を用いた持続可能な地域づくりの分析 -兵庫県豊岡市におけるコウノトリ野生復帰を素材にして-  
○清水万由子(長野大学)  
討論者:大沼あゆみ(慶應大学)
- 4 歴史的遺産保全財政システムの実態分析 -鎌倉市の緑地を事例に  
○吉村武洋(一橋大学・院) 学生会員 指導教員名:寺西俊一  
討論者:平原隆史(千葉商科大学)

## I1 原子力

座長:室田武(同志社大学)

- 1 東日本大震災後の放射能漏洩事故の損害賠償費支払いを踏まえた、原子力発電電力単価の新算出  
○早瀬光司(広島大学)・井上直人(広島大学・院)  
討論者:吉田央(東京農工大学)
- 2 FUKUSHIMA DAIICHI:海外の反応とその分析  
○大島輝夫(化学品安全管理研究所)  
討論者:室田武(同志社大学)

## J1 環境経済理論・モデル分析(1)

座長:日引聡(国立環境研究所)

- 1 調整純貯蓄と制度の質 -パネルデータを用いた実証分析-  
○佐々木健吾(名古屋学院大学)  
討論者:森 俊介(東京理科大学)
- 2 リサイクル可能な資源の最適利用についての理論的研究  
○横尾英史(国立環境研究所)・日引聡(国立環境研究所)・宮脇幸治(国立環境研究所)  
討論者:赤尾健一(早稲田大学)
- 3 所得分布へのガンマ分布の適用と潜在食料需要関数の推定  
○森俊介(東京理科大学)・中田大智(日立製作所)・大蔵将史(大阪府立大学)  
討論者:室田泰弘(湘南エコノメトリクス)

## K1 気候変動 - 産業対応

座長: 馬奈木俊介(東北大学)

- 1 Which is greener industry? Empirical Study for 10 Industries in OECD Countries  
○藤井秀道(東北大学)・馬奈木俊介(東北大学)  
討論者: 山崎雅人(産業技術総合研究所)
- 2 CO2 排出規制がセメント部門とアルミニウム部門に与える影響の評価-業種細分化された GTAP データベースによる応用一般均衡分析-  
○山崎雅人(産業技術総合研究所)・杉野誠(上智大学)・武田史郎(関東学園大学)・有村俊秀(上智大学)  
討論者: 小嶋公史(地球環境戦略機関)
- 3 クリーン開発メカニズム(CDM)利用による後発途上国等の電化促進の可能性  
○福井祥子(地球環境戦略研究機関)  
討論者: 藤倉良(法政大学)
- 4 日本における化石燃料消費量と経済成長の因果性分析  
○石田葉月(福島大学)  
討論者: 東愛子(北海道大学)



## A2 <企画> アジアの資源循環システム

座長:小嶋公史(地球環境戦略研究機関)

討論者:前田章(東京大学)、道田悦代(日本貿易振興機構アジア経済研究所)

- 1 鉄鉱石供給制約のもたらす経済影響評価  
○矢野貴之(地球環境戦略研究機関)・小嶋公史(地球環境戦略研究機関)
- 2 CGE モデルによる資源循環・資源利用抑制政策の影響評価  
○小嶋公史(地球環境戦略研究機関)・矢野貴之(地球環境戦略研究機関)
- 3 アジアにおける持続可能な資源循環への段階的アプローチと資源消費抑制政策の必要性  
○堀田康彦(地球環境戦略研究機関)
- 4 日本の銅のスクラップ市場における価格連動性の検証  
○有賀健高(地球環境戦略研究機関)

## B2 <企画> 2013年以降の気候変動政策の経済的手法(1)

座長:金星姫(日本エネルギー経済研究所)

- 1 各主体が採った措置からみた2013年以降の国際オフセット制度の展望  
○田上貴彦(日本エネルギー経済研究所)  
討論者:二宮康司(地球環境戦略研究機関)
- 2 先進国の国境税調整に対抗する途上国での炭素税の動向  
○清水透(日本エネルギー経済研究所)  
討論者:二宮康司(地球環境戦略研究機関)
- 3 REDD プラスのクレジットメカニズム構築に向けた課題と今後の展望  
○高橋健太郎(地球環境戦略研究機関)  
討論者:新澤秀則(兵庫県立大学)
- 4 欧州のエネルギー・気候変動政策パッケージの意義と展望  
○坂本智幸(東北大学・院) 学生会員 指導教員名:馬奈木俊介  
討論者:新澤秀則(兵庫県立大学)

## C2 気候変動ポスト2012(2)

座長:松下和夫(京都大学)

- 1 多国間/2国間オフセット・クレジット・メカニズムの課題  
○明日香壽川(東北大学)  
討論者:河瀬玲奈(京都大学)
- 2 2050年における経済発展と温室効果ガス削減目標のかかりについて  
○河瀬玲奈(京都大学)・松岡譲(京都大学)  
討論者:木村ひとみ(大妻女子大学)
- 3 日本における気候変動法の国内実施と将来枠組みへの示唆  
○木村ひとみ(大妻女子大学)  
討論者:明日香壽川(東北大学)

## D2 再生可能エネルギー(1)

座長:倉阪秀史(千葉大学)

- 1 再生可能エネルギーの全量買取制度の政策決定における政治経済学的研究  
○道満治彦(環境エネルギー政策研究所 / 立教大学・院)・飯田哲也(環境エネルギー政策研究所)・Andrew DeWit(立教大学) 学生会員 指導教員名: Andrew DeWit  
討論者: 倉阪秀史(千葉大学)
- 2 固定価格買取制度(FIT 制度)における再生可能エネルギーの普及と費用負担に関する理論分析  
○大平佳男(法政大学・院) 学生会員 指導教員名: 松波淳也  
討論者: 吉田文和(北海道大学)
- 3 わが国の再生可能エネルギーに関する統計情報が抱える問題  
○馬上文司(千葉大学・院) 学生会員 指導教員名: 倉阪秀史  
討論者: 大平佳男(法政大学)
- 4 再生可能エネルギーによる原子力発電の代替可能性について  
○倉阪秀史(千葉大学)・馬上文司(千葉大学・院)  
討論者: 遠州尋美(大阪経済大学)

## E2 気候変動緩和(1)

座長:竹内憲司(神戸大学)

- 1 政策統合を目指して:日本とノルウェーの炭素隔離技術政策を評価する  
○石井敦(東北大学)・Oluf Langhelle (University of Stavanger)  
討論者: 大野智彦(阪南大学)
- 2 MRV ルール明確化による GHG 制度運営の効率改善 -CDM での事例研究-  
○鳥居直樹(地球環境戦略研究機関)・二宮康司(地球環境戦略研究機関)  
討論者: 竹内憲司(神戸大学)
- 3 中部カリマンタンにおける REDD+の有効性に関する実証分析  
○山本裕基(神戸大学・院)・竹内憲司(神戸大学) 学生会員 指導教員名: 竹内憲司  
討論者: 井上真(東京大学)
- 4 追加性の証明は CDM プロジェクト実施の障壁なのか? -後発開発途上国における極小規模プロジェクトでの事例分析-  
○大久保望(地球環境戦略研究機関)・二宮康司(地球環境戦略研究機関)  
討論者: 石井敦(東北大学)

## F2 生物多様性・生態系サービス

座長:大沼あゆみ(慶應義塾大学)

- 1 生態系サービスを考慮した認証制度の費用便益分析 -森林認証制度を事例として-  
○Jue Yang(国立環境研究所)・吉田謙太郎(長崎大学)・Florian Kraxner(国際応用システム解析研究所 (IIASA))・山形与志樹(国立環境研究所)  
討論者: 井元智子(統計数理研究所)
- 2 ネット・ポジティブ・インパクトの日本国内におけるあり方について -日本に導入すべきオフセット制度とバンキング制度検討のための動向分析-  
○井元智子(統計数理研究所)・木村幹子(対馬市役所)・寺崎康介(インターリスク総研)・伴武彦(ポリテック・エイディティ)・原口真(インターリスク総研)  
討論者: 宮崎正浩(跡見学園女子大学)
- 3 農業生物多様性の管理に関わる NPO の社会的機能と運営特性 -在来品種の保全・利用を進める団体を事例として-  
○富吉満之(京都大学)・西川芳昭(名古屋大学)  
討論者: 斎藤崇(杏林大学)

## G2 環境マネジメントシステム(2)

座長: 國部克彦(神戸大学)

- 1 日本有害大気汚染物質自主管理計画における排出量削減効果の計量分析  
○尾沼広基(東北大学・院)・宮本拓郎(東北大学)・馬奈木俊介(東北大学)  
学生会員 指導教員名: 馬奈木俊介  
討論者: 金子慎治(広島大学)
- 2 企業の経済パフォーマンスと環境マネジメントとの因果関係 製造業企業の債務格付けと環境格付けを指標にして  
○呉瑞キ(広島大学・院)・早瀬光司(広島大学) 学生会員 指導教員名: 早瀬光司  
討論者: 藤井秀道(東北大学)
- 3 グリーンサプライチェーンマネジメントの実践に関する産業間の比較研究: 中国企業の事例  
○孫穎(国立環境研究所)・宮寺哲彦(産業技術総合研究所)・藤田壮(国立環境研究所)  
討論者: 國部克彦(神戸大学)
- 4 省資源・低炭素型サプライチェーン構築のためのマテリアルフローコスト会計(MFCA)の意義と課題  
○國部克彦(神戸大学)  
討論者: 水口剛(高崎経済大学)

## H2 環境ガバナンス(1)

座長: 亀山康子(国立環境研究所)

- 1 排出量取引をめぐる日本の新聞報道の言説分析  
○朝山慎一郎(東北大学・院)・大久保彩子(東海大学)・石井敦(東北大学)・米本昌平(東京大学)  
学生会員 指導教員名: 明日香壽川  
討論者: 青柳みどり(国立環境研究所)
- 2 ドイツにおける環境ガバナンスの構築過程  
○申東愛(北九州市立大学)  
討論者: 喜多川進(山梨大学)
- 3 鯨類管理レジームの制度的相互連関: 分析枠組みの再構築とその検証  
○大久保彩子(東海大学)・真田康弘(法政大学)・石井敦(東北大学)  
討論者: 太田宏(早稲田大学)
- 4 モントリオール議定書と京都議定書間の政策矛盾の管理: 代替フロン事例  
Sebastian Oberthür(Vrije Universiteit Brussels)・Claire Dupont(Vrije Universiteit Brussels)・○松本泰子(京都大学)  
討論者: 阪口功(学習院大学)

## I2 環境責任

座長: 除本理史(大阪市立大学)

- 1 震災時におけるアスベスト災害とその対策 -東日本大震災でのアスベスト被害防止に向けての検討-  
○南慎二郎(立命館大学)  
討論者: 除本理史(大阪市立大学)
- 2 大規模環境損害に対する企業責任  
○吉田央(東京農工大学)  
討論者: 松野裕(明治大学)
- 3 環境問題と犯罪 —因果関係の認識と意図—  
○松野裕(明治大学)  
討論者: 横尾英史(国立環境研究所)

## J2 リサイクル政策

座長:沼田大輔(福島大学)

- 1 WIO-MFAによる廃自動車スクラップ随伴トランプエレメントフロー解析  
○大野肇(東北大学・院)・松八重一代(東北大学)・中島謙一(国立環境研究所)・中村慎一郎(早稲田大学)・長坂徹也(東北大学) 学生会員 指導教員名:長坂徹也  
討論者:白川博章(名古屋大学)
- 2 リサイクル料金の経済分析-前払い方式 vs.後払い方式-  
○赤石秀之(法政大学サステナビリティ研究教育機構)  
討論者:細田衛士(慶應義塾大学)
- 3 使用済み弁当容器の限界返却費用の試算  
○小野真太(仙台国税局)・沼田大輔(福島大学)  
討論者:赤石秀之(法政大学サステナビリティ研究教育機構)
- 4 タイ・セメント産業の廃棄物利活用の現状と課題  
○佐々木創(三菱UFJリサーチ&コンサルティング)  
討論者:村上(鈴木)理映(地球環境戦略研究機関)

## K2 環境税・排出課徴金

座長:朴勝俊(関西学院大学)

- 1 ドイツ・エコロジー税制改革の費用負担分析  
○佐藤一光(慶應義塾大学・院) 学生会員 指導教員名:金子勝  
討論者:朴勝俊(関西学院大学)
- 2 低率炭素税と二成分手法の厚生分析  
○小林航(千葉商科大学)  
討論者:東田啓作(関西学院大学)
- 3 温暖化対策税による企業・家計への影響  
杉野誠(上智大学)・有村俊秀(上智大学)・○森田稔(上智大学・院)  
学生会員 指導教員名:有村俊秀  
討論者:伴金美(大阪大学)

### A3 アジア・途上国

座長:金子慎治(広島大学)

- 1 中国において企業に環境配慮を促す市民社会と市場の共鳴  
○相川泰(鳥取環境大学)  
討論者:金子慎治(広島大学)
- 2 中国における各省の二酸化炭素の排出に関する研究  
○王磊(北海道大学・院) 学生会員 指導教員名:吉田文和  
討論者:明日香壽川(東北大学)
- 3 Is Export Price of Lao Electricity to Thailand too Cheap? Evaluation of Avoided Costs with and without Environmental Costs  
○Mouavixay Palee(広島大学・院)・Shinji Kaneko(広島大学)・Satoru Komatsu(広島大学)  
学生会員 指導教員名:金子慎治  
討論者:松本健一(滋賀県立大学)
- 4 インドネシアにおけるバイオ燃料の需要拡大が森林面積に与える影響  
○文多美(名古屋大学)・白川博章(名古屋大学)  
討論者:井上真(東京大学)

### B3 <企画> 2013年以降の気候変動政策の経済的手法(2)

座長:金星姫(日本エネルギー経済研究所)

討論者:諸富徹(京都大学)

- 1 米国環境保護庁(EPA)によるGHG排出規制 ~地域排出量取引制度との関係~  
○田中鈴子(日本エネルギー経済研究所)
- 2 豪州の固定価格排出権取引制度の政治経済的背景  
○金星姫(日本エネルギー経済研究所)
- 3 中国の排出権取引制度に関する研究 —SO<sub>2</sub>の事例とCO<sub>2</sub>への適用可能性分析  
○周夏露(日本エネルギー経済研究所)

### C3 中国

座長:森晶寿(京都大学)

- 1 中国における炭素税導入の所得階層別・都市農村別負担  
○孫文君(京都大学・院) 学生会員 指導教員名:植田和弘  
討論者:竹歳一紀(桃山学院大学)
- 2 中国における流域生態補償と異地開発に関する考察 —金華江流域異地開発を事例に—  
○曹穎(名古屋大学・院) 学生会員 指導教員名:竹内恒夫  
討論者:森晶寿(京都大学)
- 3 中国の水環境問題と流域ガバナンス—北京市の水政策の現状と課題を中心に—  
○姜美松(名城大学・院) 学生会員 指導教員名:佐土井有里  
討論者:岡川梓(国立環境研究所)
- 4 中国に於ける環境収費・環境税収制度改革の分析  
○王天荷(京都大学・院) 学生会員 指導教員名:諸富徹  
討論者:周イ生(立命館大学)

### E3 気候変動緩和(2)

座長: 浜本光紹(獨協大学)

- 1 韓国企業における省エネルギー及び温室効果ガス削減活動に関する調査研究  
○昔宣希(地球環境戦略研究機関)・劉憲兵(地球環境戦略研究機関)・志々目友博(地球環境戦略研究機関)  
討論者: 申東愛(北九州市立大学)
- 2 Carbon Kuznets Curve and its Turning Point – A Quintile Regression Approach  
○高暁淳(名古屋大学・院)・薛進軍(名古屋大学) 学生会員 指導教員名: 薛進軍  
討論者: 浜本光紹(獨協大学)
- 3 家計の省エネ行動とCO2 限界削減費用  
○浜本光紹(獨協大学)  
討論者: 一方井誠治(京都大学)

### F3 <企画> 生態系サービスと生物多様性

座長: 馬奈木俊介(東北大学)

討論者: 服部徹(特定非営利活動法人 アースデイ・エブリデイ)、竹内憲司(神戸大学)、日引聡(国立環境研究所)

- 1 全国における生物多様性保全政策の経済評価: 選択実験による評価  
○栗山浩一(京都大学)・吉田謙太郎(長崎大学)
- 2 正負の生態系サービスへの支払いと経済評価  
○吉田謙太郎(長崎大学)
- 3 新たな生物多様性オフセット制度の提案: 経済実験による有効性の実証  
○東田啓作(関西学院大学)・田中健太(東北大学)・馬奈木俊介(東北大学)
- 4 主観的幸福度と環境意識の関係性: 生物多様性保全に対する支払意志額を用いて  
○鶴見哲也(南山大学)・馬奈木俊介(東北大学)
- 5 グローバルな生態系復元に関する最適投資ポートフォリオ分析  
○蒲谷景(地球環境戦略研究機関)・馬奈木俊介(東北大学)

### H3 CSR

座長: 藤井良広(上智大学)

- 1 足尾銅山と別子銅山における公害対策についての検討 —CSRの視点から—  
○浅木洋祐(北海道教育大学)  
討論者: 関耕平(島根大学)
- 2 日本企業の Green Supply Chain Management の現状について  
○井口衡(上智大学・院)・有村俊秀(上智大学)・片山東(早稲田大学)  
学生会員 指導教員名: 有村俊秀  
討論者: 在間敬子(京都産業大学)
- 3 Are SRI Funds More Resilient towards the Global Financial Crisis?  
○中井美和(神戸大学・院)・山口恵子(岡山大学)・竹内憲司(神戸大学)  
学生会員 指導教員名: 竹内憲司  
討論者: 藤井良広(上智大学)

### I3 環境経済理論モデル分析(2)

座長:細田衛士(慶應義塾大学)

- 1 Monetary and Non-monetary Benefits in Bioprospecting and the Behavior of the Intermediary with Traditional Knowledge  
○大沼あゆみ(慶應義塾大学)  
討論者:阪本浩章(京都大学)
- 2 Mechanism Design for Urban Heat Island  
○佐藤公敏(立教大学)  
討論者:坂上紳(慶應義塾大学)
- 3 Sorting and Recycling of Waste in a Linear Production Economy (線形生産経済における廃棄物の分別とリサイクル)  
○細田衛士(慶應義塾大学)  
討論者:西村一彦(日本福祉大学)

### J3 廃棄物政策・管理(1)

座長:笹尾俊明(岩手大学)

- 1 省包装に対する消費者選好:表明選好アプローチによる研究  
○山口恵子(岡山大学)・竹内憲司(神戸大学)  
討論者:村上佳世(東京都市大学)
- 2 最終処分場は高くつくものである  
○澤村美智子(神戸大学・研究生) 学生会員 指導教員名:石川雅紀  
討論者:笹尾俊明(岩手大学)
- 3 ごみの分別化・有料化が排出量を減らす地域の特定に関する研究  
○吉田友美(京都大学)・水野倫理(長崎県立大学)  
討論者:碓井健寛(創価大学)
- 4 産業廃棄物税と搬入規制が産廃フローに与える影響  
○笹尾俊明(岩手大学)  
討論者:松本茂(青山学院大学)

### K3 排出権取引

座長:新澤秀則(兵庫県立大学)

- 1 Marketable Permits System: Double Auction or Uniform Price Auction  
小谷浩示(国際大学)・○田中健太(東北大学・院)・馬奈木俊介(東北大学)  
学生会員 指導教員名:馬奈木俊介  
討論者:前田章(東京大学)
- 2 排出量取引における総量規制方式と原単位方式の比較  
○加藤真也(神戸大学・院)・竹内憲司(神戸大学) 学生会員 指導教員名:竹内憲司  
討論者:杉野誠(上智大学)
- 3 国内排出量取引制度の国際リンクに関する経済分析 —応用一般均衡分析による直接・間接リンクの分析—  
○杉野誠(上智大学)・武田史郎(関東学園大学)・有村俊秀(上智大学)・山崎雅人(産業技術総合研究所)  
討論者:新澤秀則(兵庫県立大学)
- 4 原子力停止とCO<sub>2</sub>排出制約が火力部門の燃料転換に与える影響  
○東愛子(北海道大学)  
討論者:武田史郎(関東学園大学)

## A4 <企画(パネル)> 環境規制の政策評価

座長:有村俊秀(上智大学)

討論者:松野裕(明治大学)、伊藤康(千葉商科大学)

- 1 大気汚染規制の政策評価  
○岩田和之(高崎経済大学)
- 2 1000円高速の政策評価  
○有村俊秀(上智大学)
- 3 廃棄物政策の政策評価  
○笹尾俊明(岩手大学)
- 4 応用一般均衡分析による温暖化対策の政策評価  
○武田史郎(関東学園大学)

## B4 環境評価(2)

座長:大床太郎(とよなか都市創造研究所・神戸大学)

- 1 資源循環システムのライフサイクルアセスメントに関する研究  
○大村健太(早稲田大学・院)・永田勝也(早稲田大学)・小野田弘士(早稲田大学)・胡浩(早稲田大学)・皆川雅志(早稲田大学)・宇津木隼(早稲田大学) 学生会員 指導教員名:小野田弘士  
討論者:加河茂美(九州大学)
- 2 交通社会資本のライフサイクル環境負荷評価における範囲設定と結果の信頼性との関係  
○森本涼子(名古屋大学・院)・加藤博和(名古屋大学)・柴原尚希(名古屋大学)  
学生会員 指導教員名:加藤博和  
討論者:石川雅紀(神戸大学)
- 3 自治体環境計画の数値目標の検討方法 ~環境負荷の責任分担と削減ポテンシャル把握の試み~  
○青木玲子(環境管理センター)  
討論者:大床太郎(とよなか都市創造研究所・神戸大学)
- 4 ため池保全の審議型貨幣評価:専門家説明・意思決定ルール・時間経過と情報提供の影響  
○大床太郎(とよなか都市創造研究所・神戸大学)・柘植隆宏(甲南大学)・今井葉子(国立環境研究所)・高村典子(国立環境研究所)  
討論者:野原克仁(北星学園大学)

## C4 環境資源勘定・環境指標

座長:植田和弘(京都大学)

- 1 持続可能な発展と経路の安定性:ARCH-Mによる制度の影響分析  
○佐藤真行(京都大学)・サムレト・ソワンルン(埼玉大学)・佐々木健吾(名古屋学院大学)  
討論者:大沼あゆみ(慶応義塾大学)
- 2 持続可能な健康で充実した人生を送るための富、「エコウェルス」指標の考察  
○服部徹(特定非営利活動法人アースデイ・エブリデイ)  
討論者:大橋照枝(東北大学)
- 3 ブータンの第2回GNH(Gross National Happiness:国民総幸福)調査結果にみる「幸福立国」の実態  
○大橋照枝(東北大学)  
討論者:氏川恵次(横浜国立大学)
- 4 総合的環境指標にかんする経済・環境指標の比較研究  
○氏川恵次(横浜国立大学)  
討論者:植田和弘(京都大学)



## E4 気候変動緩和(3)

座長:伴金美(大阪大学)

- 1 炭素の社会的費用、限界削減費用及び排出権価格 —エネルギー経済モデルによる計算結果の比較—  
○畠瀬和志(神戸大学)・馬奈木俊介(東北大学)  
討論者:伴金美(大阪大学)
- 2 Income Inequality and Carbon Emissions  
○郭琳(名古屋大学・院)・薛進軍(名古屋大学) 学生会員 指導教員名:薛進軍  
討論者:武石礼司(東京国際大学)
- 3 燃料代替・サービス経済化がCO2排出量に与えた影響:日本経済に対する構造的アプローチ  
○岡本隼輔(九州大学・院)・加河茂美(九州大学)・南斉規介(国立環境研究所・シドニー大学)  
学生会員 指導教員名:加河茂美  
討論者:畠瀬和志(神戸大学)

## F4 <企画(パネル)> 2012年以降の温暖化対策国際枠組み

座長:明日香壽川(東北大学・地球環境戦略研究機関)

- 1 「葉山プロポーザル」の概要  
○明日香壽川(東北大学・地球環境戦略研究機関)
- 2 「葉山プロポーザル」における新柔軟性メカニズム、MRV、資金援助、技術移転  
○二宮康司(地球環境戦略研究機関)・田村堅太郎(地球環境戦略研究機関)・福田幸司(地球環境戦略研究機関)・吉野まどか(地球環境戦略研究機関)
- 3 国際交渉の行方と「葉山プロポーザル」の受容可能性  
○亀山康子(国立環境研究所)

## G4 貿易と環境

座長:鶴見哲也(南山大学)

- 1 Did International Trade Become Dirtier for Developing Countries? On the Composition Effect of International Trade on Environment  
○本間聡(九州産業大学)・吉田裕司(九州産業大学)  
討論者:白川博章(名古屋大学)
- 2 国際産業連関表のセクターの合成が内包CO2の推計に与える影響  
○白川博章(名古屋大学)  
討論者:渡邊隆俊(愛知学院大学)
- 3 日本の製造業におけるCO2排出抑制の要因分解:製造業の海外移転 vs.技術進歩  
有村俊秀(上智大学)・○堀江哲也(上智大学)・杉野誠(上智大学)  
討論者:本間聡(九州産業大学)
- 4 パーチャルリン鉱石需要から見た日本の食糧消費  
○松八重一代(東北大学)・梶山純(東北大学)・平木岳人(東北大学)・長坂徹也(東北大学)  
討論者:金田憲和(東京農業大学)

## H4 地域と環境(2)

座長:松本茂(青山学院大学)

- 1 日本の5都市における大気汚染と健康被害-相関分析の手法について-  
○廣田恵子(日本自動車研究所)・澁谷怜史(中央大学)・鹿島茂(中央大学)  
討論者:兒山真也(兵庫県立大学)
- 2 地域に根差したCO2削減策とその経済効果の推計手法に関する研究  
○渡邊聡(名古屋大学)・竹内恒夫(名古屋大学)・杉山範子(名古屋大学)・木船久雄(名古屋学院大学)  
討論者:中畠一憲(兵庫県立大学)
- 3 ボランティア団体への加盟とボランティア活動への参加:ボランティア団体は人々の環境ボランティア活動を促進するか?  
○松本茂(青山学院大学)  
討論者:諏訪竜夫(山口大学)

## I4 <企画(パネル)> 環境政策史

座長:及川敬貴(横浜国立大学)

討論者:瀬戸口明久(大阪市立大学)、諸富徹(京都大学)

- 1 イギリス帝国の土壌浸食をめぐる議論  
○水野祥子(九州産業大学)
- 2 環境行政組織成立試論序説—フーバーの革新、ルーズベルトの革命  
○及川敬貴(横浜国立大学)
- 3 1950年代における原子力の『平和利用』と放射線防護  
○高橋智子(山梨大学)
- 4 主観的公害認定の実態と理論—神奈川県事業場公害防止条例の再評価  
○野田浩二(武蔵野大学)
- 5 1980年代の日本における気候変動政策の展開と環境政治  
○佐藤圭一(一橋大学)
- 6 『『環境先進国ドイツ』への転換—コール政権における環境政策の展開』  
○喜多川進(山梨大学)

## J4 廃棄物政策・管理(2)

座長:寺園淳(国立環境研究所)

- 1 E-waste 管理制度の比較分析—先進国の経験と途上国へのインプリケーション  
○村上(鈴木)理映(地球環境戦略研究機関)・寺園淳(国立環境研究所)・吉田綾(国立環境研究所)  
討論者:羅星仁(広島修道大学)
- 2 中国における廃電気電子機器政策-現状と課題  
○知足章宏(立命館大学)・羅星仁(広島修道大学)・櫻井次郎(関西大学)  
討論者:吉田文和(北海道大学)
- 3 19世紀イギリスのナイトソイルと環境政策:尿尿の肥料化に対する都市行政の役割  
○三俣延子(同志社大学)  
討論者:只友景士(龍谷大学)
- 4 国内における金属スクラップ(雑品)の回収・取引状況に関する調査  
○寺園淳(国立環境研究所)・吉田綾(国立環境研究所)  
討論者:山川肇(京都府立大学)

## A5 <企画(パネル)> 政策形成対話の場・機能

座長:柳下正治(上智大学)

- 1 低炭素社会づくり「対話」フォーラムにおけるステークホルダー対話の結果と分析  
○石川雅紀(神戸大学)
- 2 ステークホルダー対話における科学者コミュニティの役割についての考察  
○工藤拓毅(日本エネルギー経済研究所)
- 3 低炭素社会づくり「対話」フォーラムの実践報告  
○柳下正治(上智大学)・石川雅紀(神戸大学)・山口善久(東京ガス株式会社)・工藤拓毅(日本エネルギー経済研究所)

## B5 環境評価(3)

座長:加藤尊秋(北九州市立大学)

- 1 森林認証材に対する消費者の評価とその多様性:木質内装材を例として  
○庄子康(北海道大学)・中尾信彦(北海道大学)・上田ゆかり(北海道大学)・柿澤宏昭(北海道大学)・平井卓郎(北海道大学)  
討論者:立花敏(筑波大学)
- 2 資源に対する消費者の理解と水産エコラベルの効果—Web 調査を用いたコンジョイント分析—  
○村上佳世(東京都市大学)  
討論者:大床太郎(神戸大学)
- 3 統合化指標 ELP を応用したライフスタイルアセスメントに関する検討  
○花園竜三(早稲田大学・院)・山内崇祐(早稲田大学)・永井祐二(早稲田大学)・小野田弘士(早稲田大学)・永田勝也(早稲田大学) 学生会員 指導教員名:永田勝也  
討論者:加河茂美(九州大学)
- 4 調査謝礼選択における選択肢の順序効果:カーボンオフセットと商品券  
○加藤尊秋(北九州市立大学)・中村秀規(地球環境戦略研究機関)・肥田野登(東京工業大学)  
討論者:奥山忠裕(長崎県立大学)

## C5 LCA・ラベリング

座長:林岳(農林水産政策研究所)

- 1 LCAにおける土地利用インベントリ原単位を用いた「仮想土地利用面積」の推計  
○堀口健(東京都市大学・院)・伊坪徳宏(東京都市大学) 学生会員 指導教員名:伊坪徳宏  
討論者:松八重一代(東北大学)
- 2 生きものブランド農産物に対する消費者の認知構造—共分散構造分析(SEM)によるアプローチ—  
○大石太郎(アミタ持続可能経済研究所)・大石卓史(アミタ持続可能経済研究所)・大南絢一(アミタ持続可能経済研究所)  
討論者:林岳(農林水産政策研究所)
- 3 乗用車寿命分布モデルを用いた最適買い替えタイミングの LCA 分析:エコカー減税・補助金政策への応用  
○片岡美理(九州大学・院)・加河茂美(九州大学) 学生会員 指導教員名:加河茂美  
討論者:加藤博和(名古屋大学)

## D5 交通・自動車

座長: 一方井誠治(京都大学)

- 1 環境規制の対象地域外への影響: 自動車 NOx・PM 法の車種規制を事例に  
○岩田和之(高崎経済大学)・藤井秀道(東北大学)・馬奈木俊介(東北大学)  
討論者: 有賀健高(地球環境戦略研究機関)
- 2 What is the implication of technological change on EVs/FCVs? Analysis of Resource Economics  
○澤田英司(慶應義塾大学)・馬奈木俊介(東北大学)  
討論者: 新熊隆嘉(関西大学)
- 3 消費者のハイブリッド車の購入要因に関する実証分析  
○一方井誠治(京都大学)・栗田郁真(京都大学)・堀勝彦(京都大学)  
討論者: 青柳みどり(国立環境研究所)

## E5 途上国の気候変動(緩和・適応)

座長: 島田幸司(立命館大学)

- 1 Are they ready for climate change?  
櫻井武司(一橋大学)・管野洋光(東北農業研究センター)・○梅津千恵子(総合地球環境学研究所)  
討論者: 藤栄剛(滋賀大学)
- 2 Building Social-Ecological Resilience to Food Insecurity in Zambia: Closing a Gap between Thinking and Practice  
○Lekprichakul Thamana(RIHN)・Chieko Umetsu(RIHN)・Tom Evans(Indiana University)  
討論者: 田中勝也(滋賀大学)
- 3 Energy use and economic growth: A further look at the causal relationship in Asian developing countries  
Ma. Solina Edquid(立命館大学)・○島田幸司(立命館大学)  
討論者: 田中勝也(滋賀大学)

## F5 <企画(パネル)> 震災復興と再生可能エネルギー

座長: 吉田文和(北海道大学)

- 1 東北地方における再生可能エネルギーのポテンシャル  
○明日香壽川(東北大学)
- 2 復興会議からの提案  
○植田和弘(京都大学)
- 3 再生可能エネルギーの金融支援スキーム  
○竹ヶ原啓介(日本政策投資銀行)

## G5 コモンズ

座長: 室田武(同志社大学)

- 1 コモンズの内部制度に関する事例研究 沖縄県国頭村奥区の事例から  
○三輪大介(沖縄大学)  
討論者: 籠橋一輝(京都大学・院)
- 2 渇水への制度的適応の有効性—讃岐平野における“水融通”を事例として  
○籠橋一輝(京都大学・院)・植田和弘(京都大学) 学生会員 指導教員名: 植田和弘  
討論者: 野田浩二(武蔵野大学)
- 3 コモンズのシステムを活かした都市環境政策 —対立する「正統性」と「正当性」の解決に向けて—  
○廣川祐司(京都大学・院)・下村智典(京都大学・院) 学生会員 指導教員名: 間宮陽介  
討論者: 清水万由子(長野大学)
- 4 日本語文献と英語文献におけるコモンズ言説の比較  
○小南仁司(京都大学・院) 学生会員 指導教員名: 植田和弘  
討論者: 梅澤直樹(滋賀大学)

## H5 環境ガバナンス(2)

座長:松下和夫(京都大学)

- 1 政策課題の争点化と地方自治体の政策決定  
○市原純(地球環境戦略研究機関)  
討論者:栗田郁真(京都大学)
- 2 「弱い地域制」としての日本の国立公園制度 —地域制国立公園における資源と権限の比較—  
○田中俊徳(北海道大学)  
討論者:浅野直人(福岡大学)
- 3 「環境ガバナンスの失敗」と「メタ環境ガバナンス」からみた日本のローカルアジェンダ 21  
○宮永健太郎(滋賀県琵琶湖環境科学研究センター)  
討論者:松下和夫(京都大学)
- 4 森林環境税の必要性判断に係る意思決定プロセスの分析  
○村上一真(関西社会経済研究所)  
討論者:宮永健太郎(滋賀県琵琶湖環境科学研究センター)

## J5 廃棄物政策・管理(3)

座長:井村秀文(横浜市立大学)

- 1 アジアにおける中古品貿易に関するパネルデータ分析  
○南部和香(青山学院大学)  
討論者:寺園淳(国立環境研究所)
- 2 グッズとバズの連続性を示す意思決定モデル  
○小出秀雄(西南学院大学)  
討論者:山川 肇(京都府立大学)
- 3 自治体リサイクルの要因分析  
○碓井健寛(創価大学)・近貞美津子(創価大学)  
討論者:小出秀雄(西南学院大学)
- 4 自治体の環境改善事例の普及策についての考察—アジア諸都市における生ごみ堆肥化の取り組みを通じて—  
○前田利蔵(地球環境戦略研究機関・京都大学(院)) 学生会員 指導教員名:松下和夫  
討論者:井村秀文(横浜市立大学)

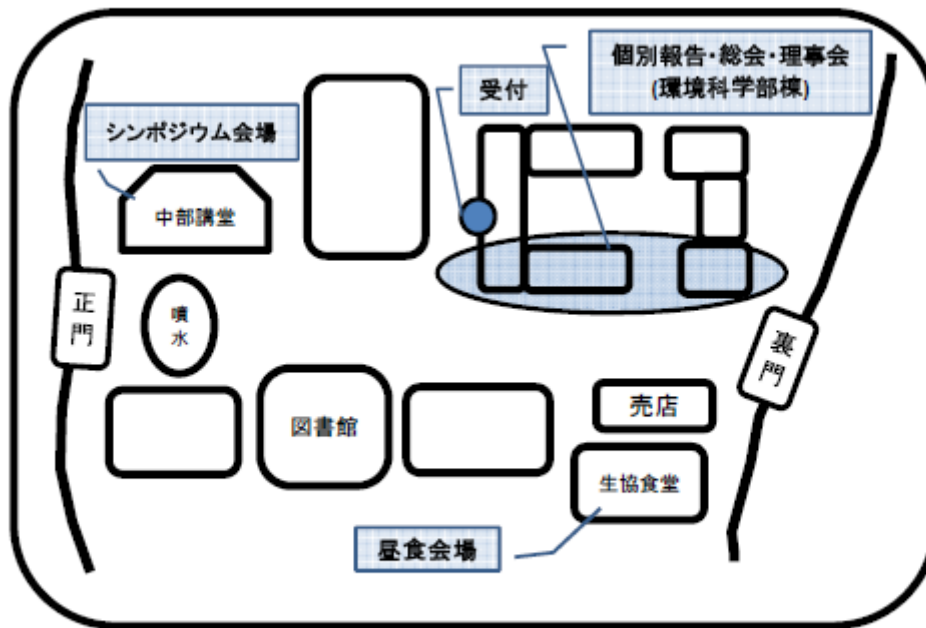
## K5 環境技術開発・普及

座長:伊藤康(千葉商科大学)

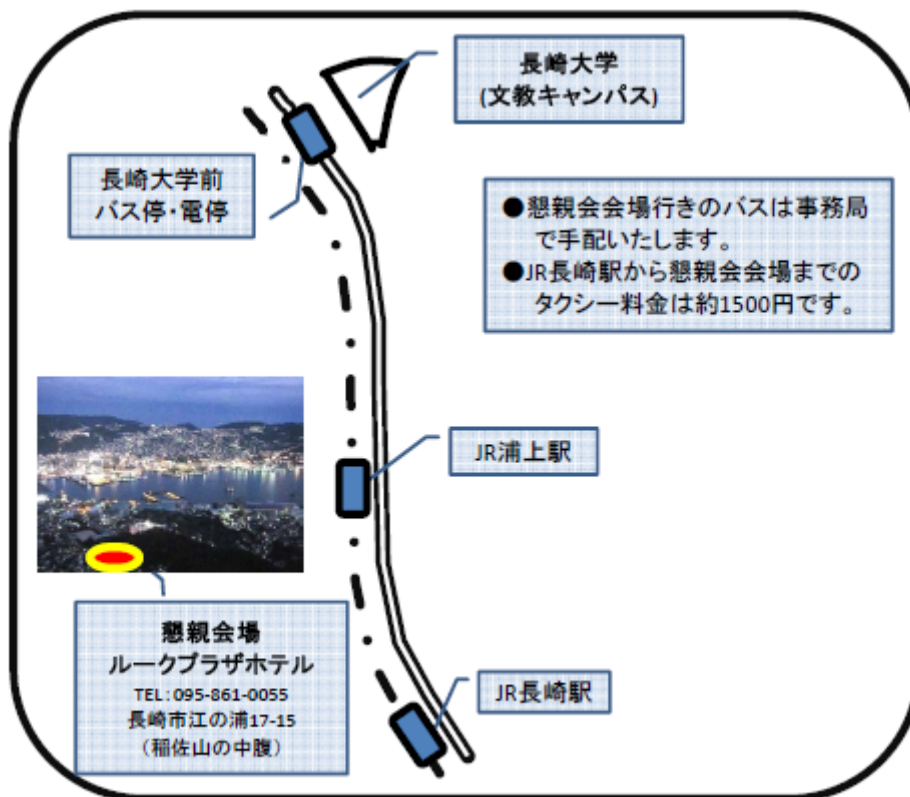
- 1 技術進歩と地球環境—グローバル公共財としての環境を伴う2国世代重複モデルによる分析  
○中川真太郎(下関市立大学)・佐藤真行(京都大学)・山口臨太郎(野村総合研究所)  
討論者:伊ヶ崎大理(日本女子大学)
- 2 低炭素経済実現のためのビジネスモデル  
○西村真(名古屋大学)  
討論者:有村俊秀(上智大学)
- 3 低温排熱を利用した冷熱供給システムの環境・経済効果  
○平木岳人(東北大学)・飯塚陽祐(東北大学)・洪錫辰(東北大学)・松八重一代(東北大学)・長坂徹也(東北大学)  
討論者:伊藤康(千葉商科大学)
- 4 世界におけるEV導入の外部便益の試算  
齋藤文(みずほ情報総研株式会社)・○板岡健之(みずほ情報総研株式会社)・吉川康雄(日産自動車株式会社)・藤本博也(日産自動車株式会社)  
討論者:石川良文(南山大学)

## 長崎大学文教キャンパス及び懇親会場へのアクセス案内

### ●個別報告・シンポジウム会場（長崎大学 文教キャンパス）

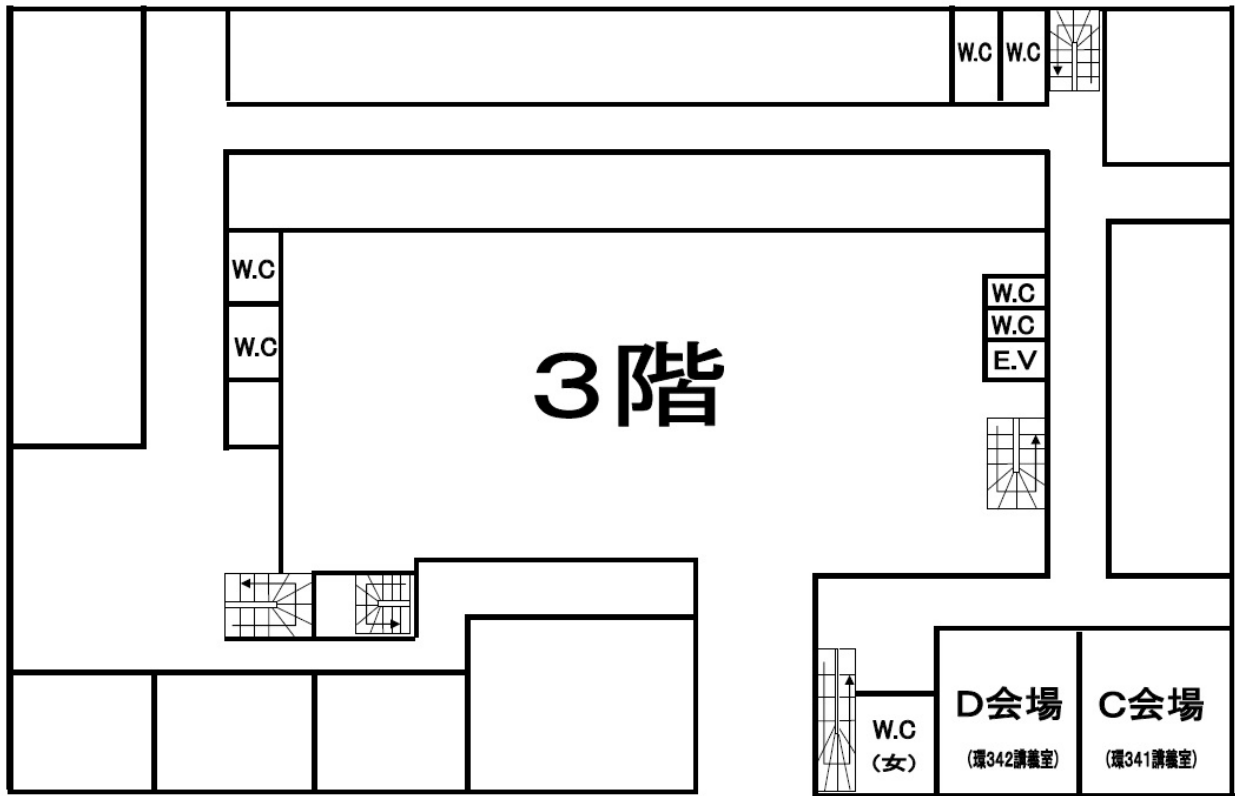


### ●懇親会場（ルークプラザホテル）



長崎大学環境科学部棟・全学教育棟 会場案内図







<表紙写真> 長崎港

<裏表紙写真> 長崎市端島（通称、軍艦島）

軍艦島は、公式視察会「エネルギー資源と地域経済：軍艦島の歴史遺産を学ぶ」の訪問先です。長崎港から船で20分ほどの洋上に浮かぶ、かつては炭鉱で栄えた無人島です。石炭採掘の最盛期には約5,300人もの人々が住み、日本初の鉄筋コンクリート造の高層集合住宅が建設されました。石炭から石油へのエネルギー転換により、1974年1月に閉山された後、無人島となりました。2009年1月には、「九州・山口の近代化産業遺産群」の一つとして、世界遺産暫定リストに掲載されるとともに、上陸観光が開始され人気を集めています。

江戸時代の鎖国中に唯一の国際港として栄えた長崎港の現在の風景は、原爆投下から復興を遂げた長崎市の象徴です。そして、日本のエネルギー転換の歴史を物語る軍艦島は、今後の日本に重要な示唆を与えるものです。



### プログラム委員会

委員長	森 晶寿	(京都大学)
	一方井 誠治	(京都大学)
	大島 堅一	(立命館大学)
	日引 聡	(国立環境研究所)
	細田 衛士	(慶應義塾大学)
	松下 和夫	(京都大学)
	吉田 謙太郎	(長崎大学)

### 実行委員会

委員長	吉田 謙太郎	(長崎大学)
事務局長	姫野 順一	(長崎大学)
	小野 隆弘	(長崎大学)
	奥山 忠裕	(長崎県立大学)
	菊池 英弘	(内閣官房)
	小林 寛	(長崎大学)
	菅原 潤	(長崎大学)
	中村 修	(長崎大学)
	西久保 裕彦	(長崎大学)
	早瀬 隆司	(長崎大学)
	深見 聡	(長崎大学)
	和達 容子	(長崎大学)

### 大会事務局

長崎大学環境科学部内  
環境経済・政策学会2011年大会実行委員会  
長崎市文教町1-14